

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化					重要度	A		
番号・取組事業名	23002	駐輪場定期利用使用料・利用料金の見直し		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	120700	土木部 交通施設課		責任者	君島 昭一	担当者	自転車対策担当		
取組年度	H28	～	H30						
効果	歳入増加		その他改善						
最終目標	駐輪場定期利用料・利用料金の見直しを図ることで、10年後を目安に駐輪場運営について受益者負担率を100%にする。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	遅れている	平成27年度に実施したパブリックコメントや協議会での意見、指定管理者との協議を重ね、受益者負担を意識した具体的な料金体系を検討した。							
平成29年度	実施	駐輪場利用者へのアンケート及び新料金の掲示による意見聴取を行うとともに、協議会での有識者の意見を取り入れ最終的な料金案を詰めていく。							
平成30年度	完了	平成30年度定期利用分より新料金体系導入。							
平成31年度									
平成32年度									
成果指標	指標名	駐輪場使用料および駐輪場管理納付金の増加					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		53,703	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	
	変更計画値	56,677		55,069	88,000	88,000	88,000	88,000	
歳入増加	実績値		52,138	51,350				0	
	当初計画額		△ 2,974	31,323	31,323	31,323	31,323	122,318	
	変更計画額	56,677		△ 1,608	31,323	31,323	31,323	89,387	
歳出削減	実績額		△ 4,539	△ 5,327				△ 9,866	
	当初計画額							0	
	変更計画額							0	
効果額	計	実績額						0	
		当初計画額	56,677	△ 2,974	31,323	31,323	31,323	31,323	122,318
		変更計画額		0	△ 1,608	31,323	31,323	31,323	89,387
見込まれる その他効果 (金額以外)	計	実績額		△ 4,539	△ 5,327	0	0	0	△ 9,866
		当初計画額							
		変更計画額							
見込まれる その他効果 (金額以外)		各駐輪場ごとの収容率を平準化させる。							

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23002	駐輪場定期利用使用料・利用料金の見直し	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	120700	土木部 交通施設課	責任者	君島 昭一	担当者	自転車対策担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	駐輪場利用者へのアンケート及び新料金の掲示による意見聴取を行うとともに、協議会での有識者の意見を取り入れ最終的な料金案を詰めていく。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	自転車等駐車対策協議会			○					
2	条例改正				○				
3	利用者への周知					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	自転車等駐車対策協議会での諮問・答申を経て、9月議会にて条例改正が可決された。今後としては、次年度から開始の新料金について、利用者への周知活動を徹底することとする。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	駐輪場使用料および駐輪場管理納付金の増加	計画値	単位 55,069	千円	実績値	単位 51,350	千円
		達成状況【成果】	一部達成	コメント	料金改定後、現地駐輪場でのビラ投函や掲示物、柏市ホームページ、広報かしわなどによる周知の徹底により大きな混乱なく、新年度の定期利用受付を行うことができた。なお、北柏や高柳の区画整理および民間駐輪場の増加により、自転車利用者の需要が変化し、利用者数がやや減少した。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	今後とも料金改定の周知等の徹底を図り、利用者が混乱しないよう適切に対応されたい。					
	方向性	継続実施							

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化					重要度	A			
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し			作成日	H29.4.1		更新日	H30.3.31	
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課			責任者	篠原 忠良		担当者	推進担当	
取組年度	H28	～	H32							
効果	歳入増加									
最終目標	体育施設の利用促進を図るとともに、他制度(目的外使用)との整合性を図ったうえで、学校施設開放対象校全校において受益者負担の導入を行なう。									
年度	区分	取組内容・目標								
平成28年度	計画どおり	目的外使用所管課との協議。他市事例等を参考に検討。								
平成29年度	実施	制度運用の一元化について、学校教育部と協議を重ねる。								
平成30年度	実施	管理・運営方式の見直し後、教育委員会へ議案提出								
平成31年度	実施	施設個別計画策定と受益者負担の検討								
平成32年度	完了	前年度方針を踏まえた運用を開始する								
成果指標	指標名	受益者負担制度導入学校数					単位	校		
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値		
	当初計画値		0	0	63	63	63	63		
	変更計画値	0	0	0	0	0	63	63		
実績値		0	0				0			
効果額	歳入増加	当初計画額						0		
		変更計画額						0		
		実績額						0		
	歳出削減	当初計画額						0		
		変更計画額						0		
		実績額						0		
計	当初計画額	0	0	0	0	0	0			
	変更計画額	0	0	0	0	0	0			
	実績額	0	0	0	0	0	0			
見込まれる その他効果 (金額以外)										

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課	責任者	篠原 忠良	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	制度運用の一元化について、学校教育部と協議を重ねる。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	学校開放利用と目的外使用の制度について、目的外使用所管課と協議			○	○	○	○		
2	金額の根拠や徴収方法、団体用件などの制度運用面の検討			○	○	○	○		
3	受益者負担の導入状況について、他自治体へ照会			○	○				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	学校開放利用と目的外使用の利用内容や目的が類似していることから、制度の一元化を前提とした検討を図るため、新規参入などのルール見直し等を検討した。 受益者負担については、平成31年度目途にスポーツ施設個別計画を策定するため、学校体育施設の有効活用と併行して検討していく。				
進捗・実績									
		成果指標名	受益者負担制度導入学校数	計画値	単位	校	実績値	単位	校
					0			0	
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	学校施設開放運営委員会による自主的な管理・運営を強化するため、学校施設開放運営委員会に参加し、状況把握に努めた。また、目的外使用所管課との協議や制度運用面(金額設定や徴収方法等)については、他市事例等を参考に受益者負担のあり方について慎重に検討した。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	学校施設開放については、目的外利用と学校施設開放事業の2方式により運営されており、制度の一元化を前提とした検討を優先しているが、学校施設開放運営委員会の自主的な管理・運営の強化を目的として、平成30年度に見直しを行い、平成31年度に教育委員会へ議案を提出、平成32年度より一元化による制度運用を開始することとした。 また、平成30年4月に柏の葉中学校が開校することから、計画値について、1校増加とする。			
		計画値	有						
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	関係者や関係団体等の協議、調整などは、時間を掛けざるを得ないが、その他の検討や協議については、当初の計画に拘ることなく、スピード感を持って取り組まれない。					
	方向性	取組み強化							

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化					重要度	B		
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課		責任者	増田 義男	担当者	推進担当		
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳出削減								
最終目標	手賀沼浄化啓発, 持続可能な市民マラソンとして定着していくため, 大会運営に係る経費の削減と参加費とのバランスを調整し, 適正な行政負担のあり方を検討していく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	新コースの設定。参加者（一般枠）の1,000名増員。大会の自主運営についての検討。							
平成29年度	実施	大会参加費500円値上げ(5,000円)大会運営費の精査							
平成30年度	実施	平成29年度と同様。(参加費5,000円)大会運営費の精査							
平成31年度	実施	32年度の参加費増額及び負担金減額について, 実行委員の共通理解を図る。							
平成32年度	完了	大会参加費を1,000円値上げする。(参加費6,000円)及び大会負担金の額を決定する。							
成果指標	指標名	開催市負担金の削減					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	人口一人当たりの 負担金27円	—	4,500	4,500	4,500	1,000	1,000	
	変更計画値			0	0	0	3,600	3,600	
実績値	11,010千円	—	0				0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010		0	0	0	7,410	7,410
		実績額		0	0				0
	計	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010	0	0	0	0	7,410	7,410
		実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)									

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	B			
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課	責任者	増田 義男	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	大会参加費500円値上げ(5,000円)大会運営費の精査							
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	大会経費の見直し等(参加者人数,参加費など)や大会委託経費の見直しによる削減		○			○			
2	大会事務局会議及び実行委員会議での協議		○	○	○	○			
3	負担金支出の考え方について検討		○	○	○	○			
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	第22回大会より新コースになり,安全な大会運営が行えたことや,公認レースとして広く参加を呼びかけるため,今回の大会より参加者を一般枠で1,000人増員した。また,大会参加者による受益者負担と自主運営の支援という観点から,参加費を500円増額した。今回大会の状況を把握した上で,引き続き受益者負担とのバランスを考えながら,負担金の考え方を整理して見直しを図っていく。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	開催市負担金の削減		計画値	単位 千円	0	実績値	単位 千円	0
	達成状況【成果】	達成	コメント	第22回大会のコース変更や第23回大会から日本陸連の公認大会となったことで,より安心安全な大会運営が求められる中,広く参加を呼びかけるため,参加者を一般枠で1,000人増員した。また,受益者負担と自主運営の観点から,大会参加費を500円増額した。					
	進捗状況【活動】	計画どおり		今後,負担金の適正化・透明化・具現化を図り,受益者負担とのバランスを考えた額の決定を我孫子市及び実行委員会と協議していく。					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	適正な受益者負担及び負担金を決定するにあたり,当初の計画より,検証・調整を要するため。				
計画値		無							
評価	評価者	小貫 省三	※重要度A事業は副市長,重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	大会運営に係る経費や受益者負担の金額を精査し,適正な負担金額を算出することを求める。					
	方向性	継続実施							